

# 学習効果を上げるための ノートの工夫

前回のPTA広報では、「家庭学習の取り組みの様子」について、アンケートをもとに特集をしました。今回は、「学習効果を上げるためのノートの工夫」というテーマで生徒や教科担任の先生方の意見をまとめてみました。この記事を読んで、ノートをさらに工夫して、学習効果を高めることを願っています。

## 先生方からのアドバイス

### 国語

(授業で)

- 読み取りの学習の時は、本文と結び付けて自分の考えを書くことよ。

(例)本文の「～」という文から、・・・ということが分かります。

- 自分の考えをまとめて書く時は、初めに「結論」、後に「根拠」を書くことよ。

(例)私は、～という考えに賛成です。その理由は、・・・からです。

(家庭学習で)

入試には、「課題作文」という、ある程度の長さの文章を書く問題が出ます。その対策として、毎日の「植岡」をきちんと書くことよ。

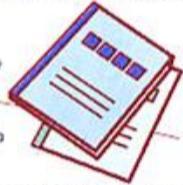
- 書き方の基本1 一文(。から。まで)は短く。

(例)・・・は、○○である。

- 書き方の基本2 主語と述語を対応させる。

(例)彼の長所は、・・・なことだ。

- 書き方の基本3 一文の中で、同じ単語を繰り返し使わない。(悪い例)僕は・・・だったので、僕は笑った。



### 理科

- ①理科学習の基本的な流れである課題→予想→実験→考察→まとめの課程をわかりやすくまとめる。

- ②自分が実験・観察したことから得られた事実を自分の言葉でメモし、残す。

- ③実験の結果をわかりやすく、表やグラフをわかりやすくまとめる。

※わかりやすくするためには、ノートは適度な間隔をとり、つめすぎない。定規を使う。色ペンを使いすぎない。(2色まで)



### 英語

- ①本文と単語と基本文は、授業の前に予習として家で書いてくる。後で書き込めるように、ノートは余裕をもって使う。

- ②授業中は黒板に書かれたことを写したり、習ったことを本文に書き込んだりする。ただし、書くことだけに集中しないで、話をよく聞く。

- ③授業で習った後には、単語や基本文を何度も書いたり、本文を訳したりしてノートをまとめる。自分の参考書を作るつもりで。



### 数学

- ①1時間の授業で学んだ大切な事柄や考え方、やり方を正確に書く。(具体的な例を1つは書く)

- ②より速くやる方法や別の解き方など、なるほどと思った事柄は朱書きなどで見やすく残す。

- ③分からなかった問題や用語などは印をつけるか、書き留めておく。(→質問したり、考えたりして必ずできるようにする)



### 社会

- ①「課題」と「まとめ」をしっかり書く。
- ②板書のみを写すのではなく、自分の考えなども書く。
- ③色も効果的に使って書く。(使いすぎは×)



## 私はこんな工夫 をひいています。

(生徒のアンケートより)

- ①大切なことは色ペンを使ったり、大きな字で書いて目立たせる。
- ②学習した日付や単元名をしっかりと書く。
- ③間違えた答えを消さずに色ペンで直して正解を書く。
- ④言葉だけでなく、図やイラストも入れる。
- ⑤空白をとって後から書き込めるようにする。

